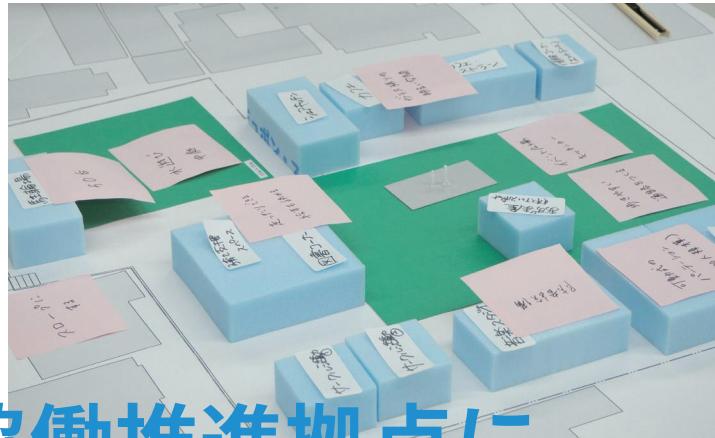


中宇治地域 市民協働推進拠点
中宇治の
コミュニティ・リビング
ワークショップ



vol.2
市民協働推進拠点に
場所とかたちを与える

中宇治地域の新たなまちづくりの拠点整備を、市民協働によって進めるためのワークショップの第2回目を行いました。今回のテーマは、「市民協働推進拠点に場所とかたちを与える」です。公民連携で交流の拠点づくりに携わってきた株式会社コーミンの代表取締役である入江智子さんによる話題提供の後、グループワークを行いました。

[交流空間のつくり方]

入江さんからは、大阪府大東市で行っている公民連携による市営住宅の建て替え事業である、morinekiプロジェクトについて紹介していただきました。この

プロジェクトは、地域の自立を目指すものであり、行政が一方的にこういうものが欲しいだろうという想像で作るのではなく、実際に市民ワークショップを通して、本当にその地域の人たちが必要としているもの、使うものを作るということを重視したそうです。

また、具体的な空間づくりについては、市営住宅の住民に外に出て生活の質を上げて欲しいという想いから、境目のない空間を目指したそうです。morinekiエリアは、建物の中と外の活動がつながり、交流が生まれ、街に広がってゆくような空間になっています。これは地域全体の価値を高めることにもつながってお

り、建物だけではなく周辺の環境も含めた居心地の良さに目を向けることが大切だということを学びました。また、広場や緑を含めたエリア全体の見え方も大事だという話があり、今回のワークショップを進める上で重要なヒントとなったのではないかでしょうか。

入江さんの話題提供により、参加者の皆さんも交流拠点の具体的なイメージが湧き、ワークショップでの活発な議論につながったようです。

[大きさを考える]

グループワークでは初めに、前回のワークショップで挙げられた施設やコーナーのプログラムを確認し、それぞれの広さや大きさを、広場を表す画用紙と建物を表す模型ブロックに当てはめて検討しました。実際の大きさをイメージするのが難しいという声もありましたが、このくらいの人数で使いたい、可変的な空間として、一つのブロックに複数のプログラムを組み合わせたらどうかといった意見が出され、徐々に理想のサイズが決





◀ 各グループで新しい拠点の機能やゾーニングなどを模型にまとめた

まっていました。その後、菟道ふれあいセンターの平面図を用いて、広場と建物の配置を検討し、その空間でどのような活動が生まれるかについて、アイデアを出し合いました。

[空間の重なり]

空間の配置には各グループの特色が表れ、具体的な使い方や建物のイメージまで幅広く議論されていました。その中でも、全グループに共通していたのは、南側の道路に面した部分をエントランスとし、そこに隣接して大きな広場を配置するという点です。また、駐車場や駐輪場を入り口近くに設けるという意見も多く見られました。その一方で安全性の観点から、子どもたちには裏の路地を利用して欲しいと、動線を工夫するグループもありました。

各グループを特徴付けていたのは広場の存在です。広場を一つにまとめたグループもあれば、用途に応じて二つ、三つに分けたグループもあり、広場の配置だけでなく、使い方についても多様な意見が出されました。例えば、小さな子ど

も向けのプールや、ボール遊びができるスペース、高齢者向けの健康遊具など、どんな人が利用するのかを考えながら議論が進められていました。広場に対して建物をどのように建てるかという議論にも発展し、広く見渡せるようにガラス張りの建物にしたいといった意見があがりました。

実際に配置していく中で空間の重なりが生まれたり、建物の裏にできたスペースを使ってみようという声があがったり、次第に具体的な人々の活動がイメージされていくのが見て取れました。

ワークショップの最後には入江さんから「誰がどんなことをするかが具体的に考えられていて、とても良かった」という講評をいただきました。また、具体的な空間設計に関しては、駐車場の配置に触れ、裏から見ても表から見ても素敵なものになるように、建物の両面性を考えてみてほしいというアドバイスをいただきました。今回は模型を使ったワークショップだったこともあり、実際に形にしていくことでイメージも膨らみ、前回以上に議論が盛り上がってきました。次



回は「市民協働推進拠点の具体的なプランを想像する」をテーマに、これまで出たアイデアをもとに中宇治地域の市民協働推進拠点にふさわしいモデルプランへとブラッシュアップしていきます。



次回のワークショップ予定

10/20(日) 15:00 ~ 17:00

市民協働推進拠点の 具体的なプランを想像する

中宇治のコミュニティ・リビング
ワークショップ

主催：宇治市
アーバンデザインセンター宇治

発行：2024年9月28日

